



- 【自宅前収集による処分】**
- ①粗大ごみ収集日前日の午後3時までに、電話で役場環境保全課に予約する
☎096(293)3113
 - ②収集業者からの折り返し連絡を待つ
 - ※受付番号と粗大ごみステッカーの必要枚数を伝えます
 - ③粗大ごみステッカーを購入して貼り付ける（町内のスーパードで販売）
 - ④収集日の朝8時30分までに自宅前に出す



粗大ごみの出し方

引越シーズンになり、普段よりも多くのごみが出てきている家庭も多いのではないのでしょうか。ルールを守り正しくごみを出しましょう。

- 受付時間**
- 平日 午前8時30分～正午
午後1時～5時
土曜日（クリーンの森合志のみ）
午前8時30分～正午
- 料金**
- 10kg以下 110円
以降10kgごとに 110円加算



- 不燃性粗大ごみ**
- 持ち込み先 環境美化センター
住所 大津町大津115番地
●問い合わせ ☎096(293)1222



- 【直接持ち込みによる処分】**
- 可燃性粗大ごみ**
- 持ち込み先 クリーンの森合志
住所 合志市幾久富460番地
●問い合わせ ☎096(248)0330



連載「人権シリーズ」

役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920

■障がいと理由とする差別や偏見をなくしましょう

- 障害者差別解消法**
- 平成28年、障がいの有無で分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合う社会の実現に向け、障がいと理由とする差別の解消を推進することを目的に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されました。この法律では、行政機関と民間事業者に対し、「不当な差別的取扱い」の禁止と「合理的配慮」の提供を求めています。
- 不当な差別的取扱いと合理的配慮**
- 【不当な差別的取扱い】**
- ・障がいを理由に窓口での対応を拒んだり、順序を後回しにしたりする
 - ・車いすや補助犬を理由に入店や参加を拒否する
 - ・障がいのある本人を無視して介助者や支援者にだけ話しかける
- 【合理的配慮の具体例】**
- ・段差にスロープを渡す

筆談や読み上げ、手話などによるコミュニケーション、分かりやすい表現を使って説明する

- ・障がい特性に応じたルール、慣行などの柔軟な変更

合理的配慮には、勝手な判断をせず障がいの本人の意思を最大限に尊重することが大切です。

- 心のバリアフリーを広げましょう**
- 障がいのある人を取り巻くバリア（障壁）には次のようなものがあります。
- ・物理面のバリア
建物の段差や急こう配の通路など
 - ・制度面のバリア
障がいに対する配慮を欠いた社会のルールなど
 - ・文化・情報面のバリア
音声や点字、手話など必要な人によりやすい案内がないことなど
 - ・意識上のバリア
差別や無関心、受け入れられないなど私たちのまわりでは、障がいのある人が使いやすいように、建物や交通機関などで、バリアフリーが広がっています。しかし、施設などの整備だけでは社会のバリアはなくならず、高年齢になっても、どんな立場でも、安心して生活をするためには、一人一人が多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」を広げていくことが大切です。



連載「人権シリーズ企画」

役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920

●誰もが持っている「アンコンシャス・バイアス」

「アンコンシャス・バイアス」という言葉を知っていますか。日本語に訳すと「無意識の偏見」といい、自分自身が気付かずに持つ、偏ったものの見方、考え方、思い込みのことです。

私たちの脳は、これまでの経験などと照らし合わせて、あらゆるものを「自分なりに解釈する」機能があり、それにより誰にでも起こりうるものです。

- こんなことはありませんか？**
- ・来客受付やお茶出しを男性が行うのは、違和感がある
 - ・子育て中の女性に長期出張や残業は頼めない
 - ・血液型がA型の人は〇〇な性格だ
 - ・DVと聞くと被害者は女性だと思ってしまう
 - ・「普通は〇〇だ」という言葉を使うことがある

このように、アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰もが持っているものです。それ自体が悪

いわけではありません。問題なのは、そのことに気付かないうちに「決めつけ」「押しつけ」となり、周囲に悪影響を与えることです。

- 良かれと思ったその言動は：**
- ・小さい子どもがいるから残業しなくても済む範囲の仕事だけを任せようなど、女性に対して配慮をしたことがありませんか。それぞれの置かれた状況は異なるのに、「子どもがいる」女性は〇〇だろう」という思い込みによる偏見が、女性の社会進出の妨げになっていることも少なくありません。良かれと思った周囲の気遣いがその人のやる気や成長（キャリアアップ）の機会を奪うことになるかもしれません。
 - ・無意識の偏見は誰もが持っているものなので、誰もが当事者になる可能性があります。誰かを傷つけないためには、自分にも無意識の偏見があることをしっかりと自覚することが必要です。まずは日々の生活を振り返って、自分の言動に思い当たるものがないかチェックしてみるのも良いのではないのでしょうか。



おおづのしごと 大津町企業連絡協議会 VOL.18

株式会社 構造計画研究所
Innovating for a Wise Future
工学知をベースに賢慮ある未来社会を創出して参ります

1959年に「社会のあらゆる問題を解決する工学を生業とした組織」を目指し設立した当社は、1980年代に通産省で検討していたテクノポリス構想に基づき当時の細川護熙熊本県知事の要請もあって、熊本進出を決意しました。

1986年には大津町室の風光明媚な小高い丘に社屋を構え、現在では約100人の所員・パートナー様が勤務しています。

熊本事業所では、熊本県や大津町など地方自治体や、住宅メーカー・建設業・製造業・公共交通事業社などさまざまな業界のお客様が抱える課題解決から、世界中を航行する海運コンテナ船のプランニング事業などを実践しています。

これからも幅広い分野でステークホルダの皆さんと賢慮ある未来社会の構築を目指していきますので、よろしくお願ひします。

大津町室にある事務所

システム開発風景 打ち合わせ風景

【企業概要】

- 所在地 菊池郡大津町室1315
- 業種 情報サービス
- 従業員数 615人(熊本100人)
- 事業内容 エンジニアリングコンサルティング
- 連絡先 ☎096(292)1111
- ホームページ <https://www.kke.co.jp/>

株式会社 構造計画研究所 検索